

第3回 蛍光イメージング ミニシンポジウム

日時:平成26年9月24日(水曜) 13:30~17:45

総合司会:大友 康平

場所:電子科学研究所1階 会議室

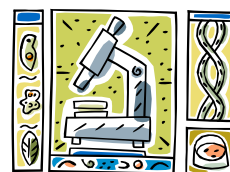
2008年の下村脩先生のノーベル賞受賞に象徴されますように、近年の基礎医学や疾病研究の現場において、イメージングの果たす役割や期待がますます高まっております。本シンポジウムでは、イメージングによる最先端の研究や、各種機器や蛍光試薬などイメージング関連技術の応用などを紹介し、そして活発な意見交換の場としたいと存じます。



13:30 開会の挨拶 根本 知己 (電子科学研究所 ニコンイメージングセンター センター長)

13:35 - 14:15 大木 研一 (九州大学 大学院医学研究院 教授)

「ミクロとマクロをつなぐマルチモーダル・イメージング」

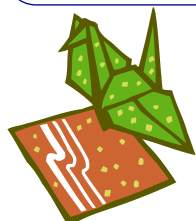
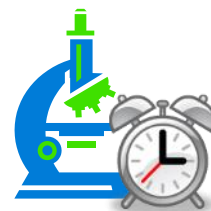


14:15 - 14:55 松田 知己 (大阪大学 産業科学研究所 准教授)

「蛍光タンパク質プローブによる生理機能のイメージングと操作」

15:05 - 15:35 榎木 亮介 (北海道大学 大学院医学研究科 助教)

「概日リズム中枢神経回路の可視化解析」



15:35 - 16:05 繁富 香織 (北海道大学 大学院保健科学研究院 特任助教)

「マイクロプレートデバイスを用いた細胞操作」

16:15 - 17:45 協賛企業による講演(各15分)

ニコンインステック・浜松ホトニクス・サーモフィッシャーサイエンティフィック
(ライフテクノロジーズ)・プロメガ・五稜化学・ソリューションシステムズ



17:45 閉会の挨拶 大友 康平 (電子科学研究所 ニコンイメージングセンター 特任助教)

18:15 懇親会 創成科学研究棟1階 レストラン・ポプラ